

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名： 氏家 茂 所属： 宇都宮市立国本中央小学校

課題名： 「花と緑と小鳥の学校」を生かした環境教育

### 1. 課題の主旨

本校では、伝統として「花と緑と小鳥の学校」を目指し、児童・教職員・PTAその他地域をあげて、学校環境の充実に努めている。また、数年前より総合的な活動として3年「花いっぱい学校」、4年「ツバメの学校」、5年「ブルーベリーの学校」、6年「花と緑と小鳥の学校」と児童が主体的に計画的に活動を行うことで、環境教育を充実させてきた。

さらに、自然とのつながりを体感し、また、深く自然を理解し、自然とどう関わっていったらよいかを児童一人一人がじっくり考えられる場を設定したい。

### 2. 活動状況

#### (1) 生活科・総合的な学習での農園活動

##### ① 「みんな仲間だ」の単元

1～6年生を縦割り班20班で、野菜作りを行った。また、種まき、その成長の様子、収穫の様子をデジタルカメラで撮影し、児童の振り返りの手段とした。

##### ② 3年「花いっぱいの学校」

児童を中心に、育てる花を決め、成長するまで世話をする。デジカメでその様子を撮影し、観察したり、世話について話し合ったりした。

##### ③ 4年「ツバメの学校」

ツバメの生態を調べたり、学校に巣を作ったものを観察したりした。調べたり観察したりしたことを、廊下に掲示し、他の児童に発信した。



【通路に掲示したツバメの観察のまとめ】

##### ④ 5年「ブルーベリーの学校」

年間を通して、ブルーベリーの世話をした。地域のボランティアの方から世話の仕方の説明を受け、また、見つけた害虫についてデジカメに撮影し、図鑑やインターネットで調べ、駆除した。

また、挿し木をして、苗を増やした。



【挿し木で育ってきた苗】

##### ⑤ 6年「花と緑と小鳥の学校」では、学校にくる鳥や学校にある木についてその種類や生態、木の特徴について調べた。

## (2) ビオトープづくり

平成17年度から計画を立て、平成18年度に工事を着工し、10月に完成した。地域のボランティアの協力のもと、今後、そこに自然に育つ植物や、そこに集まる生物を観察する予定である。また、購入したコンパクトデジタルカメラを利用し、定点観察を行う予定である。



【完成したビオトープ】

## (3) 小鳥の巣箱作り

これまでより小鳥が観察しやすいように、今年度、多くの巣箱を作成し、校庭や校舎に設置した。

## 3. 結果

- ・デジタルカメラを有効利用することで、記録が容易になり、観察が深まった。また、児童に自然への関心を高めることができた。
- ・記録がデジタル処理でき、発表資料作りを効率的に行うことができた。また、楽しく発表資料づくりを行うことができた。
- ・ビオトープが完成し、児童の自然への関心が高まった。

## 4. 今後の課題と発展

- ・ビオトープでの自然観察を定期的に行うとともに、学校の近くの調整池等の観察も行い、観察をより深めていきたい。
- ・自然観察では、デジタルカメラの定点観察により、長期的、またズーム機能をいかしてミクロの観察も行いたい。また、その画像を、ホームページで公開したい。

## 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

今回の理科・環境教育助成を受けることができ、本校の長年の夢であったビオトープを作ることができました。また、デジタルカメラが充実し、児童が主体的に観察を行う環境が整いました。

これは、児童の理科への興味の喚起、環境を守る思いの育成への授業を展開するために大きな支えとなります。この場を借りて、(財)日産科学振興財団へ感謝申し上げます。ありがとうございました。